

震度と揺れ等の状況(概要)

0 	【震度0】 人は揺れを感じない。	1 	【震度1】 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	2 	【震度2】 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。	3 	【震度3】 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。
4 	【震度4】 - ほとんどの人が驚く。 - 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 - 座りの悪い置物が、倒れることがある。	6弱  耐震性が高い 耐震性が低い	【震度6弱】 - 立っていることが困難になる。 - 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 - 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 - 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。				
5弱 	【震度5弱】 - 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 - 棚にある食器類や本が落ちることがある。 - 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	6強  耐震性が高い 耐震性が低い	【震度6強】 - はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 - 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 - 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 - 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。				
5強 	【震度5強】 - 物につかまらなないと歩くことが難しい。 - 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。 - 固定していない家具が倒れることがある。 - 補強されていないブロック塀が崩れることがある。	7  耐震性が高い 耐震性が低い	【震度7】 - 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。 - 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 - 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。				

地震が起きたら

あわてず、まず身の安全を!!

緊急地震速報を見聞きしたら

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難 ● あわてて外に飛び出さない(落下物や車が危険) ● 揺れがおさまってから、あわてず火の始末 ● あわてた行動、けがのもと | <ul style="list-style-type: none"> ● 運転中は、ハザードランプを点灯し、緩やかに減速 ● 近づくな、門や扉、自動販売機やビルのそば ● 海岸でぐらっときたら高台へ |
|---|--|

家の耐震化や家具の固定など、日頃から地震に備えましょう!!



国土交通省 気象庁

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4 電話: (03) 3212-8341 (代表)
ホームページアドレス <http://www.jma.go.jp/>

平成27年3月31日